

教科	部屋(人数)	内容
国語	212 (68)	テーマ:「主体的、対話的で深い学び」に向けた授業づくりについて ～小・中・高等学校の若手教員による実践事例から考える～ 埼玉県宮代町立須賀小学校 松本 千秋 先生 さいたま市立上大久保中学校 山本 恭平 先生 埼玉県立川越工業高等学校 佐原 将大 先生
社会	210 (92)	社会科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせた学習指導の工夫—中学校地理的分野「関東地方」の実践に基づく提案— 附属中学校 二瓶剛先生・齊藤耕太郎先生 中学校社会科における学び合いを中心とした学習指導の工夫 —中学校公民的分野「経済ってなんだ？」の実践に基づく提案— 埼玉大学教職大学院 安原輝彦 教授, 附属中学校 二瓶 剛 先生 空間的な見方・考え方を働かせた社会科らしい学習指導の工夫 —社会がわかり社会にかかわる児童を育てる社会科授業の提案— 附属小学校 矢島弘一先生
理科	G棟 109 (72)	授業づくりの第一歩～理科の見方・考え方を働かせるってどういうこと？ 附属小・中学校の教員による提案 参加者とグループディスカッション ブース式;教材紹介・実演・ポスター発表→ディスカッション
算数・数学	214 (92)	研究テーマ 算数・数学科における「主体的・対話的で深い学び」の具現化 教育学部教員・附属学校教員による提案 公立学校の現職教員からの提案および研究協議
英語	201 (51)	研究テーマ 英語科における「主体的・対話的で深い学び」の実践 実践報告・ワークショップ 附属中学校 高橋 太一 先生・蓬澤 守 先生 及川 賢 准教授の解説
保健体育	324 (80) 体育館	全体像から提示するゴール型球技(バスケットボール)指導についての提案 ～従来の指導法とは正反対の視点を試みる(新学習指導要領への対応も含める)～ 提案者 埼玉大学教育学部 松本 真 准教授 【概要】体育館で実技をし、ラウンドテーブル方式で附属小・附属中の先生方を中心とした参加者に本提案について活発に議論, 参加者の先生方(運動希望者)、運動ができる服装(体育館用シューズも)のご準備
図画工作・ 美術	コモ棟 6階	「附属学校と連携して, 新学習指導要領における指導改善について提案・協議する」 教育学部 美術分野教員

音楽	211 (40) 音楽第一講 義室	<p>研究テーマ 「新学習指導要領における音楽科授業のあり方ー附属小・附属中による授業実践を通してー」</p> <p><附属小学校の実践発表> 「感性を働かせ、主体的・創造的に音楽を伝えようとする児童を育てる指導の工夫」 ・詩と音楽を味わおう ～「ふるさと」の歌唱指導～ (6年生：歌唱) 附属小学校 波多江慶太 先生、納見 梢 先生 三橋博道 先生</p> <p><附属中学校の実践発表> 「表現と鑑賞の関連を図り、思考力・判断力・表現力をより効果的に育成する学習指導法の工夫」</p>
		<p>・表現したいイメージをもち、2声のアンサンブルの音楽をつくろう (1年生：創作・鑑賞)</p> <p>・我が国の伝統音楽の魅力を味わおう (3年生：歌唱・鑑賞) 附属中学校 佐藤太一 先生 辻浦拓人 先生</p> <p>提案・指導講評 教育学部 伊藤 誠 教授、蛭多令子 教授、小野和彦 准教授</p>
技術	112 (60)	<p>研究テーマ 「新学習指導要領における授業改善の視点と手立て」</p> <p>「3Dプリンター・思考支援ツールを活用した材料加工の授業提案」 附属中学校 木村 僚 先生</p> <p>「植物工場を題材とした教材の開発と指導過程の提案」 連合大学院 埼玉大学配属 佐藤正直(現職) 先生</p> <p>「新学習指導要領における授業改善の在り方」 教育学部 山本利一 教授</p>
家庭	113 (60)	<p>研究テーマ 「小学校家庭科から中学校へつなぐ」</p> <p>*小学校家庭科の授業報告「ピカピカ気持ちのよいくらし：クリーン大作戦」 附属小学校 横家知世 先生</p> <p>*関連するショートレクチャー「整理整頓・掃除から快適性・環境の学び」 教育学部 亀崎美苗 准教授</p> <p>*グループディスカッション：ファシリテート 教育学部 吉川はる奈 教授</p> <p>*小学校と中学校の家庭科の連携をどうはかるか</p> <p>*家庭科授業の困りごと・授業内容・方法等に関する相談・アドバイス 教育学部 家庭科分野教員</p>

生活と総合	322 (40)	<p>研究テーマ 「新学習指導要領に対応したスタートカリキュラムの改善ーカリキュラムマネジメントの実際ー」</p> <p>「学部附属小学校のスタートカリキュラムの実際」 附属小学校 若村健一先生</p> <p>「さいたま市のスタートカリキュラムの現状と課題」 東岩槻小学校 石田典子 (院生)</p> <p>「スタートカリキュラムQ&A」 教育学部 宇佐見香代 教授</p> <p>「振り返り・まとめ」 教育学部 岩川直樹 教授</p>
特別支援	325 (80)	<p>研究テーマ「今、求められる"真"の連携とは ～インクルーシブ教育システムの構築のために～」</p> <p>「小学校特別支援教育コーディネーターの立場から」 桶川市立桶川小学校 金風祐士 先生 (H29年度県教委派遣長期研修生)</p> <p>「小学校発達障害・情緒障害通級指導教室担当の立場から」 ふじみ野市立駒西小学校 中村美宏 先生 (H29年度県教委派遣長期研修生)</p> <p>「特別支援学校就学相談担当の立場から」 県立上尾かしの木特別支援学校 新井真由先生 (H29年度県教委派遣長期研修生)</p> <p>「特別支援学校コーディネーターの立場から」 附属特別支援学校 加藤和子 先生 (附属特別支援教育臨床研究センター兼任)</p> <p>司会進行及びまとめ 教育学部 名越斉子 准教授 櫻井康博 教授 長江清和 教授</p>
教育相談	203 (48)	<p>自信をもって悩む教育相談をするために～実践を後押しする理論の重要性～</p> <p>指導者 (実施責任者) 沢崎 俊之 専攻長 (教授)</p> <p>戸田市喜沢小学校 黒田龍生 先生 (平成27年度埼玉大学長期研修生)</p> <p>ふじみ野市教育委員会 須藤大二郎 先生 (平成26年度埼玉大学長期研修生)</p> <p>埼玉県立岩槻北稜高等学校 山谷紀子 先生 (平成27年度埼玉大学長期研修生)</p> <p>(司会者) 附属中学校 長濱美智子先生</p>
幼児	213 (68)	<p>新しい要領・指針を踏まえた保幼小の接続のあり方</p> <p>ファシリテーター：教育学部 首藤敏元 教授</p> <p>話題提供：「草加市における幼保小中を一貫した教育 (仮題)」 草加市教育委員会子ども教育連携推進室室長 嶋田弘之 先生</p> <p>「さいたま市公立保育所における保小交流活動の取組 (仮題)」 さいたま市立指扇保育園</p> <p>「『かしこさ』を育てる保育～幼児教育における「学び」とは」 附属幼稚園 小谷宜路 先生</p>

